

服装（身だしなみ）について（再）

本校の教育目標である「自立と共生」を育む視点や近年の気候等を考慮し、衣替え時期を設けないこととしています。寒い時期に着用する防寒着について、再確認をします。

生徒の皆さんは、下記の内容を確認にし、気候や体調に応じて適切に服装を選択し身だしなみを整えて登下校するようにしてください。

〔登校前に〕

- 1 その日の気候と体調を確認する。
- 2 冬服スタイルか夏服スタイルかどちらかを選択する。
- 3 防寒着が必要かどうかを判断する。
- 4 スカート丈の長さやシャツがズボンから出ていないかをチェックする。

〔冬服のきまり〕

- 1 本校指定の標準服を着用する。
- 2 上着（ブレザー）を着用する。
- 3 シャツは、白のワイシャツまたはブラウスです。
- 4 ベルトは黒・紺・茶系統とする。
- 5 ネクタイもしくはリボンを着用する。
- 6 スカート丈はヒザがかくれる程度（目安：ヒザ立ちしてスカート裾が床につく）とする。



〔防寒着（具）について〕

- 1 登下校の際、寒い場合には、防寒着や手袋、マフラーを着用してもよい。
- 2 防寒着とは、コート、ダウンジャケット、ウィンドブレーカー、セーター、カーディガン、ベスト等をさす。
- 3 コート類の防寒着の色は、無地の黒、紺、グレー、茶系統とする。
- 4 セーターやカーディガン、ベストについては、標準服内に着用するため、色は黒または紺色で、柄はワンポイント程度とする。
- 5 高価なものや派手なものは控え、受験などの場にもふさわしく、標準服に合うものとする。

〔留意事項〕

※冬服で登下校する際は、セーターやカーディガン姿ではなくブレザーを着用し、ネクタイまたはリボンも着用する。ただし、夏服の場合は、目黒中央中指定ベスト着用での登下校は可とする。

※セーターやカーディガンの袖や裾がブレザーからはみ出さないように正しく着用する。

※儀式的行事（始業式・修了式など）は、体育着やポロシャツではなく、標準服（夏または冬）で参加する。

（担 当） 生活指導主任 瀬戸川 堯
TEL 3711-8394